

年 組 (番) 名前

記入日 月 日

女子1000mの経過 ※丸数字は通過順位、()内はラップタイム

200m	600m	ゴール
高木美帆 ①17秒60	レーラダム ①44秒47 (26秒70)	高木美帆 1分13秒19 (28秒71) 五輪新
レーラダム ⑥17秒77	高木美帆 ②44秒48 (26秒88)	レーラダム 1分13秒83 (29秒36)
	ポウ ④44秒92 (27秒32)	ポウ 1分14秒61 (29秒69)

美帆 万能の女王

北京冬季五輪のスピードスケート女子1000mで、高木美帆(27)が金メダルに輝いた。

五輪新で金メダル

拔群のスタートから加速すると、高木は呼吸も忘れたかのように飛ばした。「最後に自分の全てを出し切ることができた」。五輪新記録を出し、何度も右腕を突き上げた。

1000mの金メダルは日本選手で初。欧米選手に比べて小柄な日本選手は歩幅で及ばず、距離が長くなれば不利になる。過去の五輪で優勝し

た日本選手は、いずれも500mだった。壁を乗り越えた要因はスケーティングの技術だ。指導者は「着地したときに氷との間の摩擦が少なく、前に進む」と天性の能力を指摘する。1歩で進む距離が長い分、体力を消耗せず、1周400mのラップタイム※が後半でも大きく落ちないという。

もちろん、高木は才能に甘えず力を磨いた。スピード勝負の500mを強化する一方、長距離の3000mにも取り組んだ。専門種目を絞るように言われても、多くの種目を滑ることで全てが速くなるという信念を持っていった。

今大会は5種目に出場した。距離も違えば、練習方法も異なり、ピークを合わせるのが容易でない中、3種目で銀メダル。3000mでも6位

に入賞し、最後の種目で頂点に立った。全てで世界トップレベルの力を示し、挑戦が正しかったことを証明した。

1 新聞記事では、同じ言葉を使わずに別の表現で言いかえる工夫をしています。次の言葉と同じ意味で使われている言葉を書きましょう。

= 優勝 = = 女王

2 見だしの「万能」とは、高木選手のどのような特長をひとことで表した言葉ですか。最も適切なものを選び、番号を書きましょう。

- ① 日本選手で初めて、五輪の1000メートルで金メダルに輝いたこと
- ② スケーティングの技術で、欧米選手に負けない能力を持っていること
- ③ 距離にかかわらず、出場した全種目で世界トップレベルの力があること
- ④ スピードスケート以外の競技でも、日本代表として活躍していること

※「ラップタイム」=タイムを競うスポーツで1周や一定の距離ごとにかかる時間

(2022年2月18日 読売新聞朝刊より)

3 ○○さんは、高木選手の記事を読んで次のような感想を書きました。

わたしは高木選手から、(A)を学ぶことの大切さを学びました。図「女子1000メートルの経過」を見ると、高木選手はメダルを争った選手と比べて、(B)がわかります。最後に力を出し切ることができたのは、種目を絞るように言われても、多くの種目に挑戦した結果だと思っています。

◆ Aに入る言葉を、記事から2字でぬき出しましょう。

◆ Bに入る説明として最も適切なものを次から選び、番号を書きましょう。

- ① スタートからゴールまでトップのタイムで滑り切ったこと
- ② 拔群のスタートで引き離し、その差を最後まで守ったこと
- ③ 日本選手に不利という後半でもタイムが落ちなかったこと
- ④ 欧米選手との身長差を、天性の能力だけでおぎなったこと



女子1000mの経過 ※丸数字は通過順位、()内はラップタイム

200m	600m	ゴール	
高木美帆 ①17秒60	レーラダム ①44秒47 (26秒70)	高木美帆 1分13秒19 (28秒71) 五輪新	金
レーラダム ⑥17秒77	高木美帆 ②44秒48 (26秒88)	レーラダム 1分13秒83 (29秒36)	銀
	パウ ④44秒92 (27秒32)	パウ 1分14秒61 (29秒69)	銅

美帆 万能の女王

北京冬季五輪のスピードスケート女子1000mで、高木美帆が金メダルに輝いた。

五輪新で金メダル

抜群のスタートから加速すると、高木は呼吸も忘れたかのように飛ばした。「最後に自分の全てを出し切ることができた」。五輪新記録を出し、何度も右腕を突き上げた。

1000mの金メダルは日本選手で初。欧米選手に比べて小柄な日本選手は歩幅で及ばず、距離が長くなれば不利になる。過去の五輪で優勝した

五輪新で金メダル

た日本選手は、いずれも500mだった。壁を乗り越えた要因はスケートティングの技術だ。指導者は「着地したときに氷との間の摩擦が少なく、前に進む」と天性の能力を指摘する。1歩で進む距離が長い分、体力を消耗せず、1周400mのラップタイム※が後半でも大きく落ちないという。

今日大会は5種目に出場した。距離も違えば、練習方法も異なり、ピークを合わせるのが容易でない中、3種目で銀メダル。3000m以降でも6位

もちろん、高木は才能に甘えず力を磨いた。スピード勝負の500mを強化する一方、長距離の3000m以降にも取り組んだ。専門種目を絞るように言われても、多くの種目を滑ることで全てが速くなるという信念を持っていった。

1 新聞記事では、同じ言葉を使わずに別の表現で言いかえる工夫をしています。次の言葉と同じ意味で使われている言葉を書きましょう。

金メダル

= 優勝 =

頂点

= 女王

「頂点」には一番上=トップ、最高の地位、という意味があります。

こ入賞し、最後の種目で頂点に立った。全てで世界トップレベルの力を示し、挑戦が正しかったことを証明した。

「万能」には、何でもできるという意味があります。高木選手は5種目に出場し「3種目で銀メダル」「6位」「金メダル」と全て素晴らしい結果でした。その点を新聞は「万能」と表現したたえています。①、②は、間違ったことを書いているわけはありませんが、「万能」という表現とは結びつきません。

2 見だしの「万能」とは、高木選手のどのような特長をひとことで表した言葉ですか。最も適切なものを選び、番号を書きましょう。

- ① 日本選手で初めて、五輪の1000メートルで金メダルに輝いたこと
- ② スケートティングの技術で、欧米選手に負けられない能力を持っていること
- ③ 距離にかかわらず、出場した全種目で世界トップレベルの力があること
- ④ スピードスケート以外の競技でも、日本代表として活躍していること

③

A 高木選手は「多くの種目を滑ることで、全てが速くなるという信念」で結果を出しました。「信念をつらぬく」という言い方を聞いたことはありませんか。

B 図の、ラスト1週のラップタイムを見ると、ほかの選手と比べて、高木選手はあまり落ちていないことがわかります。

3 ○○さんは、高木選手の記事を読んで次のような感想を書きました。

私は高木選手から、(A)をつらぬくことの大切さを学びました。図「女子1000メートルの経過」を見ると、高木選手はメダルを争った選手と比べて、(B)がわかります。最後に力を出し切ることができたのは、種目を絞るように言われても、多くの種目に挑戦した結果だと思えます。

◆ Aに入る言葉を、記事から2字でぬき出しましょう。

信念

◆ Bに入る説明として最も適切なものを次から選び、番号を書きましょう。

③

- ① スタートからゴールまでトップのタイムで滑り切ったこと
- ② 抜群のスタートで引き離し、その差を最後まで守ったこと
- ③ 日本選手に不利という後半でもタイムが落ちなかったこと
- ④ 欧米選手との身長差を、天性の能力だけでおぎなったこと



読んでみよう!

◆ミー太郎のおすすめ記事

 Vancouver 2010

15歳美帆ほろ苦初陣

【バンクーバー】吉永亜希子【15歳の五輪デビューは切なかった。18日（日本時間19日）のスピードスケート女子1000メートルで、高木美帆選手（15）（北海道幕別町立札幌内中学3年）は記録最下位の35位。世界の壁にはねのけられ、悔しさに唇をかんだ。それでもスタンドの応援団からは惜しめない拍手が送られ、北海道の同級生たちも夢の舞台に立つ「美帆」に声をからした。

高木選手の登場は6番目。スタートは無難に決めたが、内側のカナダ人選手にどんどん引き離され、ゴールでは1秒以上の差がついた。悔しかったのか、しばらくは硬い表情を崩さなかった。スタンドの最後列にいた父、愛徳さん（52）らを見つけると、ようやく笑顔になり、軽く手を振った。愛徳さんは「無事に終わった。自分なりに一生懸命滑った」と目を細めた。

レース後、高木選手は「色々な感情が交じっています。悔いが残ります」と残念そうに語り、「スタート地点に立った時は気にならなかったけれど、緊張は結構していた」と振り返った。

（2010年2月19日 読売新聞夕刊より）

高木選手は、中学3年で初出場した五輪では、最下位だったのですね。

それから12年で、金メダル。長いと感じますか。短いと感じますか。

